

希望ヶ丘 わくわくクラブ ～学童保育の現状～

わくわくクラブは平成9年4月に開所した「のぞみ保育園地域交流室」が母体となっています。現在は80名以上の子どもさんが登録されており、夏休み中のこの日は48名の子どもさんが夏休みの宿題や、絵を描いたりしていました。



▲「市長はどんな車に乗っているんですか？」との質問に答える中嶋市長



●夏休みの宿題がんばってください。



市長ぐるっとトーク

第2回

「甲南町」

7月26日(火) 第2回となる『市長ぐるっとトーク』が甲南町で行われました。



杉谷地区の「杉谷なす」 ～地域特産品づくりの取り組み状況～

●ここまでの栽培には大変な苦労があったと思います。

“杉谷なす”は甲南町の伝統野菜で、現在杉谷地区内で生産されています。

栽培は天候などに非常に左右され、また何度も植え替えが必要になるので、形の良いものや、大きなものができるには大変な苦労があるそうです。



▲1株あたり15個程度の実をつけるそうです。



▲まちの新たなシンボルとして期待される六角ふれあいひろばで説明を受けました。

NPO法人 六角ふれあいひろば

～NPO法人の活動状況～

「六角ふれあいひろば」は町のシンボルである六角堂のそばにある空き店舗を利用した、子ども、障がい者(児)、お年寄りがくつろぎ、楽しむことのできる交流型デイサービスを提供している施設です。



▲六角ふれあい市場では地元特産品の販売や喫茶スペースなどがあります。

そばの里いわた

～転作そばの振興と過疎化傾向地域の活性化～

第三学区は、少子・高齢化が最も進んでいる地域で、数年前から地域活性化委員会を組織し、第3小学校・診療所問題、そして工業団地等に関する様々な課題や今後のまちづくりを模索されています。

また「そばの里いわた」は自宅の転作田で栽培したそばを自ら打ち提供するお店として平成15年10月にオープンしました。地元の方はもちろん遠方からもそばを味わいにくる方もいます。岩田徹さんは「地域でのそば栽培を通して地域振興につながれば」と話しておられました。



▲そばの里いわたで第三学区活性化委員会の現状と課題などの説明を受けました。



社会福祉法人 やまなみ会 やまなみ工房・ゆとりあ

～社会福祉法人の活動状況～

▲やまなみ工房ではティッシュケースやお弁当袋など様々なものを作っています。

社会福祉法人やまなみ会は福祉一体型公園「ハートヘルスパーク」の一角にある、知的障がい、精神障がいなどをもつ方の通所授産施設です。ここでは粘土や陶芸の制作、布製品の作成、喫茶店の営業などの5つのグループがある「やまなみ工房」と、焼き杉を利用したカレンダー作成や藍染めTシャツ、マドレーヌなどのお菓子作りなどを行う「ゆとりあ」があります。



▲非常に細かい作業を経て作られた個性的な人形です。